

< 21-25 >
2021年12月

先生各位

新規受託開始のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。

このたび、下記検査項目の受託を開始いたしますので、ご利用いただきたくご案内申し上げます。

弊社では皆様のご要望にお応えすべく、今後も検査の新規拡大に努めてまいりますので、よろしくご願ひ申し上げます。

謹白

記

■新規受託項目:

血中遊離メタネフリン分画

[項目コード: 4068]

■新規受託開始日:

2022年 1月 4日(火)受付分より

以上

※ 裏面をご覧ください。

●血中遊離メタネフリン分画

遊離メタネフリン・ノルメタネフリンはカテコールアミンが代謝酵素であるカテコール-O-メチル基転移酵素(COMT)の作用を受けて産生された代謝産物で、硫酸抱合体となる前の状態を指します。COMTは褐色細胞腫で高濃度に発現しているため、褐色細胞腫患者の体内では遊離メタネフリン及び遊離ノルメタネフリンが持続的に分泌され、血中濃度が上昇します。

褐色細胞腫は、高血圧、動悸、頻脈、胸痛、頭痛、顔面蒼白、不安感など多彩な臨床症状を示し、代謝面からは、高血糖、乳酸アシドーシス、体重減少等を認めることが多いですが、無症候性、正常血圧性で副腎偶発腫瘍として発見されることもあります。

褐色細胞腫の診断には尿中カテコールアミン分画や尿中メタネフリン分画の測定が用いられています。一方、血中の遊離メタネフリンと遊離ノルメタネフリンを測定することは外来採血でも実施できるため、欧米では褐色細胞腫診断において最も感度・特異度の高い検査として多く用いられています。

このたび、褐色細胞腫の診断補助として保険適用されている本検査の受託を開始いたします。

項目コード	4068
検査項目名	遊離メタネフリン分画
検査方法	EIA法
検体材料・検体量	EDTA-2Na血漿 1.0 mL [容器番号 : 14番]*1
保存方法	凍結
基準値・単位	褐色細胞腫のカットオフ値 メタネフリン : 130.0 以下 pg/mL ノルメタネフリン : 506.0 以下 pg/mL
所要日数	4 ~ 11 日
保険点数	320 点*2(「D008」生化学検査Ⅱ「50」遊離メタネフリン・遊離ノルメタネフリン分画)
判断料	144 点 (生化学的検査(Ⅱ)判断料)
報告範囲	メタネフリン : 20.0 未満 ~ 3600.0 以上 ノルメタネフリン : 35.0 未満 ~ 7200.0 以上
報告桁数	小数第1位
備考	<p>*1: ・測定値が上昇するおそれがあるため、仰臥位(ぎょうがい)にて20分間安静にした後に採血してください。</p> <p>・著しい溶血や乳びが認められる検体は不可です。(特に溶血血漿は低値となる可能性があります。)</p> <p>・COMTによるドーパミン代謝物である3-methoxytyramine が著しく高値の場合、褐色細胞腫以外のドーパミン産生腫瘍の疾患では稀に偽陽性となる場合がありますのでご注意ください。</p> <p>・セロトニン、ノルアドレナリン再取り込み阻害剤、三環系抗うつ剤、MAO阻害剤、L-DOPA、交感神経刺激剤等の薬物投与を受けた後の検体では、測定値に影響を与える場合がありますのでご注意ください。</p> <p>*2: 褐色細胞腫の鑑別診断を行った場合に1回に限り算定する。本検査を実施するに当たっては、関連学会が定める指針を遵守し、褐色細胞腫を疑う医学的な理由を診療録に記載すること。</p> <p>メタネフリン、メタネフリン・ノルメタネフリン分画、ノルメタネフリン又は遊離メタネフリン・遊離ノルメタネフリン分画のうちいずれかを併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。</p>

<ご案内>

- ・項目コードが新規登録となるため、電子カルテ・健診システム等をご利用の際は、お使いのメーカーのサポート窓口へ項目紐付けの依頼をご連絡ください。